

平成 26 年度

校内研究のまとめ

研究 主題

言語活動で培う生きてはたらく国語の力の育成
～説明的な文章の指導を通して～



住田町立世田米小学校

I 研究の全体構想の概要

〈研究主題〉

言語活動で培う生きてはたらく国語の力の育成 ～説明的な文章の指導を通して～

主題設定の理由

説明的な文章において、身に付けたい力を明確にし、単元を貫く言語活動との関連を図りながら授業を展開することにより、個々の子どもの生きてはたらく国語の力を育てていく。

今日的な課題

本校の教育目標

児童の実態

研究に関する基本的な考え方

「言語活動で培う」とは

基本的な国語の力を定着させたり、言葉の美しさやリズムを体感させたりするとともに、発達の段階に応じて、記録、要約、説明、論述といった言語活動を行う能力を培うこと。

「生きてはたらく国語の力」とは

実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本となる国語の能力。

- ① 理解する能力
- ② 表す能力
- ③ 基本の能力
(漢字・語彙・文法)

「めざす子どもの姿」とは

- ② 情報を読み解き、自分の立場から情報を活用する子ども。
- ② 相手や目的、場面に応じて自分の思いや願いを膨らませて自己表現する子ども。
- ③ 自ら本に手を伸ばし、多くの文章や本に触れながら、学習を進める子ども。

研究の仮説

説明的な文章の学習において、身に付けたい力を明確にし、言語活動の充実を図った授業を行えば、生きてはたらく国語の力を育てることができるだろう。

「身に付けたい力」とは

国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域における「指導事項」に示す内容を指導する際の具体的な能力目標ととらえる。よって、一つの指導事項に含まれる複数の内容の中から、単元の目標と子どもの実態から重点的に扱いたい内容を吟味し焦点化したものである。

II 研究の具体

1 身に付けたい力を明確にした指導構想



(1) 身に付けたい力と言語活動の観点の設定

- ・単元を貫く言語活動の位置づけ
- ・身に付けたい力を身に付けるための具体的な観点の明確化

(2) 指導事項の系統化

- ・身に付けたい力の系統図の作成



2 第2次（読解）の授業改善

(1) 第3次と結び付けた授業展開の工夫



(2) 交流の工夫

3 言葉の力を向上させるための工夫

(1) 読書活動の充実



(2) 言語環境の整備

III 成果と課題

1 成 果

身に付けたい力を明確にした指導構想に関わって

- 教師が事前に言語活動のモデルを作成することで、単元を通した身に付けたい力を明確にして指導に当たることができた。また、第1次で子どもたちに作成したモデルを提示することで、子どもたちが単元を通して学習の見通しを持ち、意欲的に学習に臨むことができた。
- 系統図を作つて授業に臨むことで、指導事項に偏りなく、指導することができている。
- 国語の学習を通して身に付けた力を複合単元や他教科、朝の会のスピーチなどに広がりを持たせることができた。

第2次（読解）の授業改善に関わって

- 言語活動の観点を吟味して指導を行うことで第2次で学習したことを第3次で活かすことができるようになってきた。
- 「学年の学び」として説明的な文章で学習したこと教室に掲示することで、児童自身が振り返り確認することができた。

言葉の力を向上させるための工夫に関わって

- 委員会活動や校内掲示の工夫などを通して、様々な種類の本に手を伸ばす児童が増え、読書量の増量につながっている。

2 課 題

- 各単元の身に付けたい力と言語活動の観点の整合性を更に吟味していく必要がある。
- 児童の実態や発達段階に応じてペア学習やグループ学習の工夫をしたり目的を明確にして交流したりできるように、経験をつんでいきたい。

研究同人

（平成26年度）

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 佐々木 郁男 | 木 村 覚 勇 | 泉 田 とし子 | 泉 加代子 |
| 佐々木 正 己 | 今 野 幸 枝 | 泉 田 剛 志 | 柳 瀬 直哉 |
| 伊 藤 ルミ子 | 佐 藤 麻 穂 | 大 坂 佳 世 | 黒 田 麻 由 |
| 山 口 韶 | 小 向 三枝子 | 紺 野 育 子 | 鈴 木 幸 子 |
| 菊 池 利 彦 | 大 島 実奈子 | 菊 池 彩 恵 | 山 本 香 織 |
| 佐々木 和 枝 | 伊 藤 曜 子 | | |

（平成25年度）

| | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 朝日田 浩 子 | 菊 池 真奈美 | 菅 沼 千恵子 | 吉 田 篤 |
| 佐々木 望 美 | 小 松 寿 子 | | |

主な参考文献

- 平成25年度版 学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科授業づくりガイドブック
子どもにとって魅力ある単元をつくること「読むこと」編（平成25年度岩手県教育研究大会資料）
- 平成25年度大船渡市立立根小学校 授業交流会 リーフレット

1 身に付けたい力を明確にした指導構想

【1年生「どうやってみをまもるの」の実践を通して】

○単元のねらい

◎語や文のまとまりに気を付けて書かれてある事柄ごとに正しく読むことができる。

◎本の文や文章、絵や写真などから、必要な情報を選んで読むことができる。

【単元で言語活動を通して身に付けたい力】

○語や文のまとまりをとらえる力

【言語活動の観点】「動物 お話クイズ」

①「問い合わせに対する「答え」の文型（文末表現）

②絵や写真と言葉や文章を結び付ける

単元を貫いた言語活動

「動物 お話クイズ」

第1次…単元のねらいを知り単元の見通しを持つ。



教師の見本の提示



単元を見通した
学習計画の提示

第2次…単元のねらいを意識し、目的をもって読む。～言語活動の観点に沿って～

体の特長・敵からの身の守り方を読み取る。

①「問い合わせに対する「答え」の文型

②【なまえをおしえて】

【体のことをおしえて】

【どうやってみをまもるの】



②絵や写真と言葉や文章を結び付ける

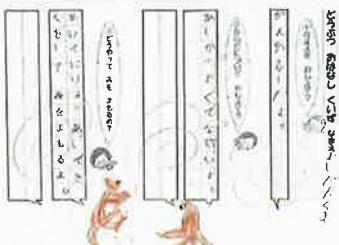


第3次…第2次での学習を活かして自分で言語活動に取り組む。

～言語活動の観点に沿って～

自分で動物を選び、

「動物 お話クイズ」を作る。

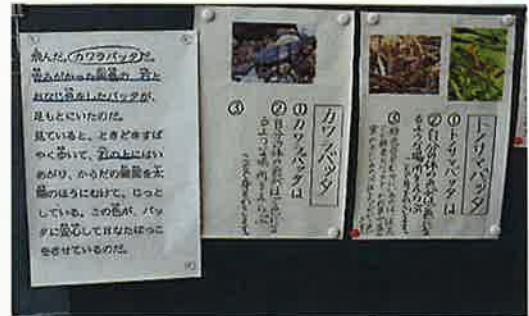


2 第2次（読解）の授業改善（1）第3次に結び付けた授業展開の工夫

①第2次の言語活動を第3次でも同じように行い、身に付けたい力の定着を図る。

【3年生「自然のかくし絵」の実践を通して】

- ・言語活動の様式を設定する。
- ・毎時間、この様式で生き物のかくれ方や体の特長をカードにまとめていく。
- ・同じかくれ方をする生き物を図鑑から見つけ、図鑑や本の中からも同じようにまとめることができた。

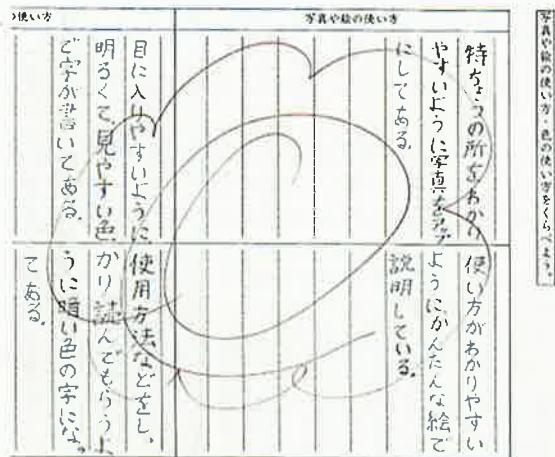


②言語活動で取り上げる項目ごとに第2次で取り上げて学習する。

【4年生「広告と説明書を読み比べよう」の実践を通して】

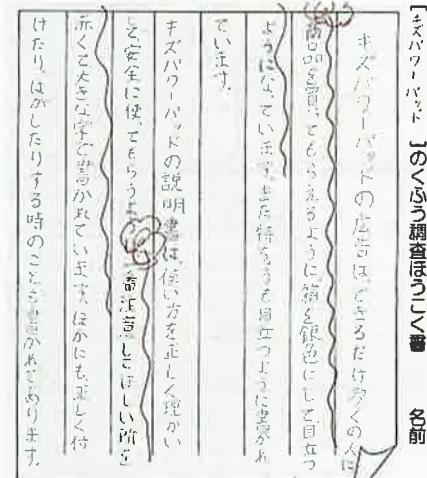
- ・広告と説明書の書かれている事柄の順序やレイアウトの工夫

第2次の指導



第2次で学んだ写真や色の使い方の工夫について第3次で身近にある広告や説明書から見つけることができた。

第3次の言語活動



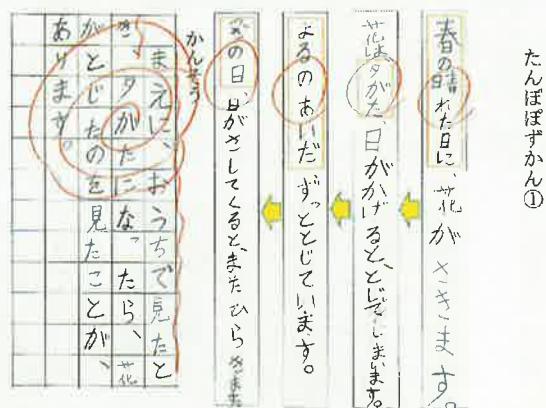
③第2次において、言語活動の観点に沿った読みが即活かされた言語活動

【2年生「たんぽぽ」の実践を通して】

- ・時を表す言葉の確認。
- ・たんぽぽの様子の変化を挿絵と結び付けながら確認。
- ・自分の体験と結びつける。

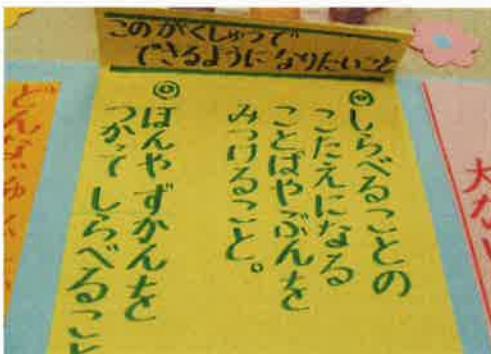


たんぽぽの様子の変化を、時を表す言葉に気をつけて読み取ってまとめることができた。

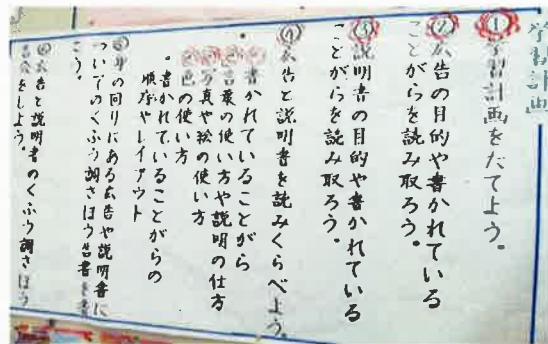


2 第2次(読解)の授業改善 — 第3次につなぐための工夫 実践例 —

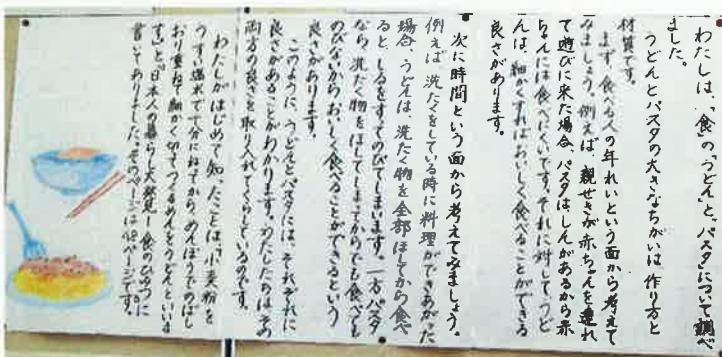
身に付けたい力の提示



学習計画の作成



言語活動の見本の提示



言語活動の観点の提示



交流の工夫



朝の会でのスピーチ

次の単元へ繋げた言語活動

| 長期間の 学習 | 夏季休業期の 学習 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| ①「いのりは、遊びと冒険をする」と思っています。 | ①夏休みも有効にナリ、楽ししく過ごせます。 |
| ②「自分自身は強く思い立つ」であります。 | ②自分自身の意見の立てても必要なことだと思われます。 |
| ③「自分の意見を聞いて、世界中で意見交換をしていきたい」と思っています。 | ③「自分の意見を聞いて、世界中で意見交換をしていきたい」と思っています。 |
| ④「長期的な視点で、自分自身の意見をまとめていきたい」と思っています。 | ④「長期的な視点で、自分自身の意見をまとめていきたい」と思っています。 |

授業の「深める」際に、自分で考えたりまとめたりする。その後、「交流」の時間を設定する。『ペア学習』『グループ学習』『学級全体』など、交流の場を設ける。交流の方向性としては、協議や討論、交流後の発表の仕方など。

新聞のリードや見出し、写真から書き手の意図を捉える学習をし、「朝の会でのスピーチ」へと繋げた実践。

投書の読み比べから読み手を説得させる意見文の書き方を学習し、次の単元の意見文の書き方へと繋げた実践。

3 言葉の力を向上させるための工夫

子どもたちは、日々様々な言語情報を取り入れ、また、自らも発信している。たくさんの情報の中から、自分に必要な情報を読み取り、相手や目的に応じた表現を選択していく力が必要である。その原点として、言葉の正しさや美しさに敏感な言語感覚を養うことは重要である。子どもたちの言葉の感性が磨かれていくように、豊かな読書環境と言語環境の整備に心がけている。

(1) 読書活動の充実

図書担当を中心に、読書意欲を喚起する取り組みを行う。また、言語活動に対応で
きるよう、教科書教材に関連した図書の補
充も計画的に行う。



(2) 言語活動の整備

言語活動で取り組んだ作品を掲示し、手にとって友だちの文章を鑑賞できるようにする。



委員会活動とも連動させ、活発な図書館利用を促す。

「ことばの広場」コーナーを設け、常に言葉の楽しさや美しさにふれられるようにする。



学年ごとに「気持ちを表す言葉」を集め、日記や作文等での活用で
きるよう日に記帳に貼っている。

| | |
|-------------------|---|
| わがいはしゃいで うれしいな |  |
| つまづくする | |
| まちまれない | |
| にこにこして | |
| わらいかけろ | |
| ーーふこうよく きゅうせき | |
| おかげで | |
| ありがとうござ ります | |
| 見 しげ | |
| ほほえむ | |

気持ちを表す言葉

二年生

【にへにへ】

- ・くすくすわらう
- ・しあわせ
- ・とてもいい
- ・よろこびました
- ・ありがとう
- ・すてきな
- ・よかつた
- ・あんしん
- ・よい
- ・わらつて

【しくしく】

- ・なくのをがまん
- ・とんぼり（しょんぼり）
- ・ぎゅっと口をとじて
- ・ためいきをつく
- ・ざんねん
- ・がっかり
- ・ふしあわせ
- ・やれやれ
- ・かなしそう
- ・かなしい気分

【ぶんぶん】

- ・にらんで
- ・あきあき
- ・ばからしい
- ・いやだよ
- ・しぶしぶ
- ・おこつて

【そのた】

- ・すまして
- ・きりりと

気持ちを表す言葉

三年生

【にこにこ】

- ・うきうきする
- ・ほほえむ
- ・親しげ
- ・わいわいはしゃぐ
- ・とびあがって手をたたきました
- ・うれしいな
- ・まちきれない
- ・にこにこして
- ・わらいかける
- ・こころよく
- ・おかげで
- ・目を丸くして
- ・すき

【しくしく】

- ・下を向く
- ・さびしい
- ・不幸
- ・がっかり
- ・つらい
- ・こわくなる
- ・しょげる

【その他】

- ・たいくつ
- ・いつしうけんめい
- ・おどろく
- ・あせる
- ・知らんぷり
- ・身ぶるい
- ・むねのあたりがあつくなる
- ・ほつとする
- ・はずかしい
- ・首をかしげる

気持ちを表す言葉

四年生

【喜】

- ・おどりあがつて喜んだ
- ・はずんだ声
- ・とびはねたくなるほどうれしい
- ・ほこらしく

【怒】

- ・むきになる
- ・ふくりとふくれた
- ・じれったくなつて
- ・どなりたてました

【哀】

- ・しょんぼりと
- ・大べそをかく
- ・えがおがきえた
- ・心の中がぐしょぐしょ
- ・下を向く

【楽】

- ・にかつと笑つた

【その他】

- ・引き合わない
- ・あわれ
- ・しのばせる
- ・びっくりして
- ・むねをはる
- ・ゆううつ
- ・のそのそと
- ・あわてふためく
- ・とまどう
- ・さみしくて
- ・頭の中が真っ白
- ・心臓の音がだんだん高くなる
- ・つまらない
- ・ほつとする
- ・びくつとして

気持ちを表す言葉

五年生

【喜】

- ・とんだりはねたり
- ・大好き
- ・はしゃぐ
- ・うれしそう
- ・喜んで
- ・すばらしい
- ・気に入る
- ・遊びたい
- ・良かった
- ・うれしい

【怒】

- ・不満そうに
- ・怒鳴る
- ・いらいら
- ・心配する

【哀】

- ・台無しにする
- ・もうしわけない
- ・くやしい
- ・きらい
- ・はずかしい
- ・つまらない
- ・苦しい
- ・負ける

【樂】

- ・身を乗り出して
- ・おもしろい
- ・息詰まるようなこうふん
- ・楽しもう
- ・今か今かと
- ・うきうき
- ・ふわふわ
- ・よしいける

気持ちを表す言葉

六年生

【喜】

- 照れて笑つて見せた
- 思わず叫んだ
- ほめそやす
- 顔がゆるみっぱなし
- 満足そうに
- わくわくします
- 目がきらきらかがやいていた
- はしやいだ
- めでたい

【怒】

- きびしい言葉をぶつける
- うとましい
- うんざり
- いらだたしい
- 願い下げ
- かんかんになつて
- うらめしげ
- 怒つて叫びだす

【哀】

- くやしそうに・くやしい
- みじめな自分
- おしつぶされそう
- みつともない
- 心も体も空っぽ
- かいがない
- くやしさだけがつのる
- 後悔がうずまいていた
- 無言の夜
- おしつぶされそうな雰囲気

【その他】

- 残念な気持ち
- 気の毒に思う
- ねたましい
- ひやかす
- 氣味が悪い
- 恐ろしさのあまり体が震える
- 薄気味悪い
- 天地がひっくりかえる
- おびえる
- 決まり悪そうに
- 見事
- おそろしい

【楽】

- いきいき
- にこにこしながら
- にこやか

- 傷つけられる
- 目がうるうるする